

「ごみ減量・もったいないねッ山形」会員アンケート調査結果

会の運営や事業について、広く会員の方々からのご意見を聞きながら検討するためアンケート調査を実施

調査期間

平成19年1月31日から2月23日まで

	対象者(人)	回答(人)	回答率
個人	114	90	78.9%
市民団体	14	12	85.7%
事業者団体	6	6	100%
事業者	24	16	66.7%
全体	158	124	78.5%

Q1 会の運営に望むこと … 回答率31.5% (124名中39名回答)

会の運営に対する主な意見としては

- ・ 会の情報発信により、仲間を増やし、豊かな活動にしてほしい
- ・ 会員の方から意見を聞きながら運営してほしい
- ・ 個々のごみ減量の取り組みに対するバックアップをしてほしい
- ・ 具体的に行動する会にしてほしい

情報発信を行い、会員の意見を取り入れる、開かれた運営が望まれています。

①情報発信：11名

行政の方針・計画と遂行・達成状況一各地区のよい例を中心にした特徴的取り組み、会員の取り組みと教訓、及び会員の意見を募集し、2～3ヶ月に1回程度の情報を出していただきたい。この情報が力になって、運動の連携が強まり、啓発の連鎖をもたらすと思います。情報誌で仲間を増やしやすくなるし、豊かな活動になると思う。配布経費は運動の盛り上がり土台に節約も出来るし、会費制も考えて良いと思います。(個人会員で年に500円～1000円)

官・民を問わず情報の発信をしてもらいたい。ネットワークを生かした「情報発信プラザ」の機能を望みます。後は会員さんがその情報をもとに、思い思いの「勝手連」的な活動を展開していき、会としてバックアップをしていけば省資源社会に近づけると思います。

総会等に於いて学習の場を提供していただき、最近の状況や情報を共有し、理解を深めながら前進させていきたいと思います。財政援助を受けている市に遠慮することなく、会員一人一人の考えを大切に会員の希望にそって運営して下さいをお願いします。

ごみの分別、古紙回収を徹底するための広報の推進。当会の活動内容の広報による会員の増加を図ること。会報の発行。エコニュース的な市民の取り組みの紹介など。

会員からの情報が確認出来、それについての意見が発信出来るシステムを作してほしい。(パソコン使用が良いかも)

個人の場合には、グループによる部門別の活動が良いのではと思われます。(地域にあっても個々人の活動は困難)せっかく会員になっても、自分の意識を高めるだけでは見えて来ません。先頭に立ってやってこられた方の方法を見せていただく交換(情報)の場もありましたら参考になるのではと思っています。

会の事業には出来る限り参加したいので、日程等はなるべく早くお知らせ願えれば大変助かります。(1ヶ月前位にお願いしたい)特に最近の行政の通知は1週間～10日位前の通知が多く予定がダブリ困る場合がある。

ごみから資源物にと排出する皆様の意識を変えられる様な情報機構になっていただきたい。

運営の進行状態を各団体にFaxでも知らせてください。

活動の内容がよくわからないので、資料・パンフレットなどありましたらお知らせください。

②会員の参加：10名

会員主体の運営にしてください。

なるべく若い世帯に加入を希望します。将来的な要素を多く含む会であるし、これからが特に大切な事として取り上げなければならないと思います。

会員間の自由な意見交換の場を提供してください。会談形式もあるでしょうし、ホームページでの掲示板形式でも良いですから。

月1回位会員の方々から意見を聞きながら、会の運営が望ましいと思っています。今後とも宜しくお願いします。

以前から根本的な解決法を会員で考え、実践している。地元産、国産の製品を愛用、その他、資源(ゴミ)を少なくする施策についても推進して欲しい。

老いも若きも関心を持てるように楽しみながら実行できるように。

会そのものの運営が一部有識者だけにかたよったものにならず、広く一般を中心としたものになるよう望みます。

70代、80代の人が多く見かけられるようですが、若い人にこそ参加してもらいたいものです。「暇潰し」「口だけの人達」にならない様に仙台の様に、ごみになる様な物を使って作った作品展をする発表の場があれば良いと思います。(賞品や表彰もあった)

市民の声の反映を軸に活動をお願いします。

個人会員の会員数がよくわからないが、その中から運営に携わる人を選ぶことが大事だと感じる。参加人数と団体が多いから運動が活発になり浸透するかというところもいえない。運営側に店舗関係がないのもどうかなく感じている。

③具体的な事例：10名

ごみ減量、環境問題への個々の取り組みを最初は1人からの出発であったとしても、「もったいないねット山形」の会としての取り組みと位置付け(認証)バックアップしていくような柔軟な運営をお願いしたい。「もったいないねットの種まき」

子供達に資源の大切さを知らせて欲しい(子供向けの企画など)

具体的に行動していける会になってほしい。

入会申込みをした時に感じたことですが、漠然として何をしようとしているのか良く分からないと思いました。何のゴミ減量に重点を置くのか、方向を定めて進まないと収拾がつかないと思います。

積雪の多い時期12～3月は、レクチャー、4～11月は、実践活動の年間計画表示検討してほしい。

学校として協力していくべき事を伝えていただきたい。

ごみ減量について各町内会ごとに努力され、実績を上げておられる様子と、一般の方に会員になっていただく事で、もっと知ってもらうような活動を(前回のリレートークのような)定期的に各公民館で開催していただきたい。

私達の団体は、小さい子供のいる家庭が対象の団体ですので、今環境に目を向けることが子供たちの未来につながることを分かりやすく意識化していけるような会でいただければ・・・と願っています。出来る人が出来る分だけ、やれるような運営形態ですとご協力しやすいかと思います。

設立総会欠席で、詳しいことは分かりませんが、地味でも細く長く続くように一つの目標に向かって、皆が気分良く取り組めるような運営にさせていただくと人が集まると思います。

継続は力なりをモットーに運営をお願いします。

④その他：8名

日本の中で、最も「ごみ減量」への取組が活発な会でありたいです。

1回参加しただけの会です。運営についてはまだわかりません。

16年7月に生ごみ処理機械を使わせてもらっていますが(EPR-W5B1)思う様に使えていません。自分と同じく思っている人が他に何かもう一度したいとお願いします。

生ごみで再利用している市や県がありますが、山形市もやるべきだと思います。ごみが出る、ごみを出さない、というよりごみを作らない、ごみになるようなものに入っていること事態が多少なり間違っているのではないのでしょうか。

ごみ減量だけでなく、ごみに関して全般に渡って考えることを望む。

町内会単位で、会の設立目的、一つ一つの事業を徹底すること。

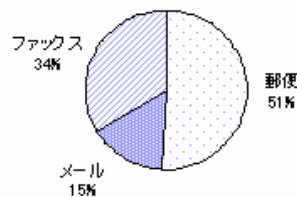
たくさんの知恵を頂き、出来ることからステップアップしていきたいと考えている。

まだ「ごみ減量・もったいないねット山形」についてよく存じません。軽率な発言は控えさせていただきます。

Q2 連絡方法

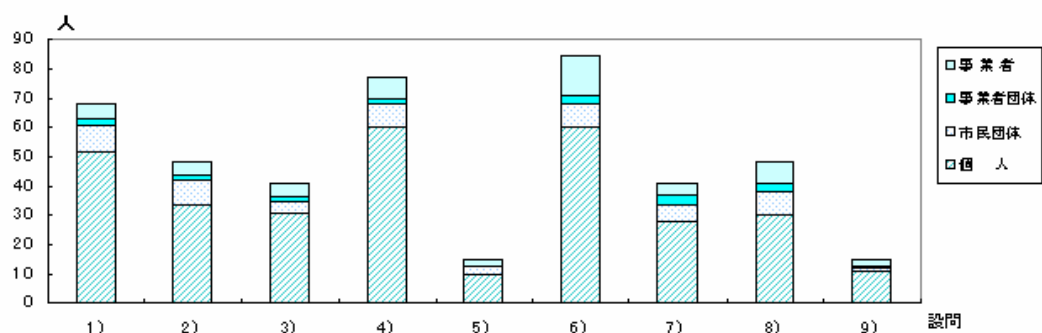
	(人)			
	郵便	メール	ファックス	計
個人	49	14	27	90
市民団体	4	0	8	12
事業者団体	3	2	1	6
事業者	7	3	6	16
計	63	19	42	124

案内方法



Q3 会員としてご協力いただけること

以下のとおり、たくさんの方からご協力いただけるとの回答をいただいております。



本会の運営にご協力いただけること	個人	市民団体	事業者団体	事業者	合 計
1)地域の方に対するごみ分別に関するアドバイスや啓発活動	52	9	2	5	68
2)ごみ減量に関する小学生やお年寄り等に対する啓発活動	34	8	2	4	48
3)不法投棄ごみの監視や撤去活動	31	4	1	5	41
4)買い物袋持参運動への参加	60	8	2	7	77
5)会の啓発資料やホームページの作成	10	3	0	2	15
6)今後行われる会の事業への参加	60	8	3	14	85
7)今後行われる会の事業へのスタッフとしての協力	28	6	3	4	41
8)ごみの減量に関するアイデアや企画の提案、実践	30	8	3	7	48
9)その他	11	1	1	2	15

Q3 (9) その他

自分の敷地にごみ集積所をしています。
校長会などを通して市内の小学校へ協力すべき事を伝えていく。
会社行事によるごみ拾い活動
70才を越えた一人暮らしの老人ゆえ、まずは己の暮らしの中で気をつけることから始めています。
身近な所からごみになるようなものはなるべく使わない
ごみ問題は成人の品格形成の基礎。子弟教育の基本に位置することの浸透はいくらかでも寄与できれば。
タバコのポイ捨てに困っています。毎朝家の前の道路にあります。モラルの問題です。
買物に行く時はエコバックを持ち歩く
良い取組には時間の許す限り参加したい。
町内の役員として代表協力です。
実生活において活用している事 (例) 生ゴミをコンポスターで処理し、畑の肥料にする。
現生活において実践していること。
子供が小さいので、協力が出来ることがあれば、エコバック作りやリメイク等のお手伝いなら得意です。
状況に応じてになるかと思うのですが
その都度内容に応じてご協力できることがあれば、させていただくというスタンスで臨ませてください。

Q4 ごみ減量に関するご意見 … 回答率54.8% (124名中68名回答)

ごみ全般、ごみ分別、リサイクル関連、自主的な取り組みについてのご意見がありました。

全般：28名

「もったいない」との意識と自覚を一人でも多くの方々に理解と実践が可能になる市民の意識の高揚のためには、何が重要なのか。それがキーポイントだと思う。団体や個人での具体的取り組み、実践例などのPR、モデルの宣伝。
環境問題に関心を持つ市民には、まだ使えるのにもったいないと思って捨てられずにいる「もの」が目のまわりにたくさんあります。処分しようと思えば、現体制では有料でゴミとして回収する方途しか選択できません。「捨てるのはもったいない」という思いは「お金を払っても捨てたくない」に通じていると思います。したがって、エコショップ認定制度とは別に、「もったいない物々交換」への登録・回収および希望者への配布のシステムをホームページに展開できると提案します。多量に発生する燃えるゴミについても、「ゴミは宝、分別は分別」をコンセプトとして、2次利用を市民の立場で考えることが大切なことと思います。長続きさせるためには、それぞれの趣味や技術を生かし、付加価値を高め(たとえばパッチワークや刺し子など)楽しみながら充実した取り組みとなるよう工夫できるものと考えます。(次ページにつづく)

(前ページつづき) 先進の取り組みを参考に、①生ゴミステーション～佐賀県伊万里市の福田さん ②有機農法～京都の〇〇さん(雑草による土作り) 家庭菜園みのりネットワーク、収穫自慢「おすそ分け楽市」 出品コンテスト・栽培技術交流、畑には「ゴミ溜め」を標準装備(ゴミ堆肥) 市民農園などの活用・強化 ③落ち葉を餌にカブトムシ～栃木県カブトムシ館 ④エコ・ガーデニング～生ゴミ堆肥・腐葉土による育成、町中に花いっぱい 引越し・解体による庭木・草花の移植・養生・増殖により街中のポケット空間(隙間空間)に装飾植栽用に提供 ⑤廃機材の活用～薪づくり～薪ストーブの普及、炭焼き・陶芸などの趣味のサークル、チップづくり～燃料・堆肥・マルチ材(炭化により雑草除け) ⑥アルミ缶の回収～個人で回収している人がいます。話を伺い共同・協力できないか? 雑貨などでも回収している人を見かけるなどなど、思いつくまま、並べてみましたが、会員として参集している市民ひとりひとりに、それぞれの思いやアイディアがあると思います。市民部会を立ち上げ、地域での連携を強め、それぞれの趣味や能力を発揮する場として会員に意見を求め、自主的な参加による、多様なサークル(ひとりでも可) 立ち上げることを再度、提案します。

デパート、スーパーマーケットでのキャンペーンの企画。リサイクルごみ(肥料)の引取り農家の指定。

身近なところから活動できるように是非「ごみ減量・もったいないねット」一覧表を作成したらいかがでしょうか。個人でも家庭でも事業所でも、一覧にそって一つでも協力できるということです。別紙を参考にしたような例を書いてあると大変便利です、啓蒙しやすくなります。

「誰でもできるごみ減量・もったいないねット」一覧表

山女連

- | | |
|----------------------------|-------------|
| 1 スーパー買い物袋持参 | 6 便座しめておく |
| 2 使わない電気のスイッチ切り | 7 洗剤の使い方の工夫 |
| 3 暖房温度の調整 | 8 生ゴミ堆肥の利用 |
| 4 エアコンの吸込みネット掃除 | 9 建物不要物の利用 |
| 5 冷蔵庫使用は効率よくそばに物を置かない、あげない | 10 人材の活用など |

買物袋持参というのは、誰もが簡単に始められる第一歩だと思います。子供から大人までが参加賛同出来る体制から進めていただけたらと思います。

啓発活動要請講座を開催していただき、終了した人の希望を募って啓発員に登録していただき、出前講座でご活躍ただけましたら、より身近に実践できると思います。各町内会で実際に取組んでいられる人達(問う町内会では衛生班といっています)が)そういう方々から、ご苦労話を聞いたり、ゴミ処理場の見学等、数多くの人々がゴミの現状を目で見・耳で聞き・自分もやらなければという気持ちになる様なことや、小さい子を通し大人も考えていくことが出来る機会を増やし、ゴミ減量に結びつけるべきだと思います。

ゴミ問題の啓発の一環として施設見学会などを行い、親子で学び合う環境の日を定め、又子供を対象にした環境クイズなどを実施したり、日常生活におけるごみ減量に対する親子での意識の高揚を図っていく行事などを。

山形市美化推進員の1人ですが、ごみ減量をするには、市民に広報やまがた、公民館等、山形市美化推進と協力いたしポスターの作成、配布して市民、事業者、行政等により街頭キャンペーン実施することによって、良い結果が出ると思いますので、宜しく願いいたします。

「鉄は熱いうちに打て」で子供や若い人にふつうのこととしてインプットしていけるように…と思います。

男性の意識向上を希望します。

町内会でごみ分別アドバイス等話合い、それを家庭でも話題にするなど、又学校でも勉強会等してもらえればと思います。一人一人の身に関っている問題ですから。

市民の知恵を振り絞り、日本の新しい基準になれる位の目標を持ち、活動をしていきましょう。

家庭の意見 → (提案) → 企業活動 → (実行) → 社会問題

↑ (解決)

このような流れ図で、参加者が活動出来ればよいと思う。

ゴミの分別をしていて思うのが、やたらと雑紙が多いことです。これからの雑紙を減らすには、消費者の努力も当然ながら、商品を出荷している会社や事業所にも減量を十分認識して戴き、不必要な紙類を省く努力をしてもらいたいと常々思っております。

視聴覚による(ビデオ・DVD等)教材を作成し、啓発運動のアドバイスが担当者によるバラツキをなくしたい(子供向け、高齢者向け、勤め人向け等)。繰り返し繰り返しの指導を行わないと効果は得られないと思う。

なぜゴミを減らさなければならないか、減らすにはどうしたら…と調べ始めて3～4年になります。それまでは、自分の買物やごみ出しの際には、ただ必要だから不要になったからという理由で、たくさん買ってたくさんごみを出して、これが豊かな生活なのだと言う意識で子育てしておりました。1人でも多くの市民の方(家族の方も含め)が発想の転換のチャンス(循環型社会で日本人の暮らし方を見直す)をつかむ事ができ、物を大切に、本来に必要なものを選んで買い、家電や消耗品の耐用年数が上がる事により、家計が豊かになるよう願っています。

生ごみ減量、エコクッキングの啓発。Q3(2)の文言中、小学生やお年寄りでなく、生活の実験をもつ人は主夫であり、主婦でないでしょうか。お年よりは、もったいない精神の鑑と思いますが。
リサイクル運動へ重きをおかず、ごみを作らない、出さない、グリーンコンシューマー運動を強く出すことが必要。結局はライフスタイルを見直しを早く行わなければならないのだから。
様々なアイデアを用いて、(HPでのクイズ形式、ポイントがたまると何らかの得点がある等)楽しくゴミ減量に取り組む方法と、今取り組まないとうなるか危機感を感じてもらえるような内容も知る機会が必要なのかと思います。
ごみ減量は、一日にしてなしえることではないでしょうから、いかに継続し、少しずつでも1人でも多くの人が携わるような、携われるような方策が必要かと思われます。
ごみに対する知識や意識を、まずは楽しみながら理解してもらうことが大切なのではないかと考えます。その知識や意識が分別につながり、違反ごみの減少又は、3Rへの促進へとつながるのではないかと考えます。楽しみながら理解するということは難しい取り組みになるかとは思いますが、市民の自主性に任せる部分を多く取り入れていかないと長期的に持続しないのではないかと考えます。
ごみ減量はこれから必要不可欠なことと考えております。出来る限り協力させていただきます。
社内でも取り組める事があれば、実践に移そうと目配りをしていきたいと考えています。いずれにしても担当者や推進セクションの対応だけでなく、広く全社的な運動にしなければ効果は上がらないだろうと思います。
食料品等の包装のごみを減らすのには業者側の過剰包装、シール等、行政の規制緩和も併せて推進すべきと思う。
市で開催していたフリーマーケット(年2回)休止しているようですが、もう一度検討してみたいかですか。
もえるゴミの中に紙類、トレーなどのまだ多く入っているようです。雑紙として出せないものをはっきり知らせてほしいと思います。スーパー等でトレーの回収はしていますが、集積所にもあったほうが集まりやすいのではないかと思います。
ごみ袋の価格をもっと上げる。紙袋からビニール袋に変わったので、生ごみの水切りが悪くなったのではないかと。時期によって袋の下1/3ぐらい水がたまっている。
痛みの伴わない運動のなんと遅く進まない現状を痛感している。やはり有料化に進む道すじを考えるべきだと考える。

ごみ分別関連等：11名

Q3(3)の不法投棄については、特に河原を散歩する人達がいづも目にする不快なものです。ゴミ袋持参の散歩をしておりますが、とても追いつくものではありません。特に唐松観音付近の河原は車で運んで置いていかれる方が後をたちません。かといって監視も現在の風潮では危険が伴うでしょう。芋煮会後のゴミ等も遠くから車で来る人達にとっては、この際家の中にある不要物も段ボールに詰めて放置されて、これを見ながら注意の言葉すら危険が伴うのです。個人の場合の罰則は何も意味のないことになります。根気よい啓発活動により各人の意識を高めるべき努力をしていかなければなりません。
自分たちの身近な所から気をつけなければならないと思います。ごみ置場の掃除をする時、まだまだ守られていない所がいっぱいあると思われます。
動植物が活動すれば必ずゴミが排出されるものである。高度成長期以降の家庭のゴミは、トレーなどのプラスチック、チラシなどの雑誌、まだ食べられる食べ残しの生ゴミなどが多い。現在の社会の仕組みを根本的に変えないと解決しない。買い物袋持参運動などは、ビニールの製造を中止しない限り解決しない。(ビニールの製造量から見ると買い物袋は少量なものと思います。)物質不変の法則・地球の重力から、このままでは地球にゴミが蓄積し続くゴミを利用する技術の新技。1人1人がゴミに対する認識を変えない限りだめだと思う。
町内会のごみ集積所が交通の便が良い所にあつて、夜中に持ち込むのが多くて困っています。特に未選別の袋が多くて、選別しなければならない。
私は、現在隣組の組長をしております。もうすぐ80歳になろうとしておりますが、ゴミ出しには気を使い、その時々掃除も心がけております。みんなが心を同じくして、ゴミに対する関心を深めれば良いと感じて居ります。
山形を美しくする推進委員の1人として意見を申し上げます。ごみ減量運動は大賛成ですが、現在各自治会で今一番困っているのは、ゴミ集積所に出すゴミの問題です。分別になっていない、指定されていない袋(スーパーの袋)で出す人、粗大ゴミを出す人等ルールを守られない人がまだ多く見られる。各会議に於いて多く意見が出る。この会の主旨は違うと思いますが、同じごみの問題として一言。
ごみ分別の出来ていない人が町内にも多いと思います。分別する内容をもっと分かるようにしたら良いと思います。

ごみになっては困るものを使用しない、使用させないという方法も考えるべきだと思います。商品を買うと紙パックなのに角のところがプラスチックだったり、とにかく矛盾していたり、めんどくさかったりしているのが、ごみの分別のネックだったり、ごみの分別に対し、一番わかりやすくするために、色別表示を必ずつけるなどの方法もとるべきだと思います。今一番気になるのが、看板などで使用したプラスチックが埋め立てられていることです。今どうもろこし素材のものがあるのに使用していない。未来が怖いです。 地域ぐるみで取り組みのが一番手っ取り速いと思います。町内会、隣組で徹底して資源ごみを分けて出す取り組みです。トレ回収運動も、もっと必要かと思ひます。それにデパート地下etcの過剰なトレ使用をなくす運動など。山形市は上山市や天童市、東根市etc隣接する市よりごみ分別方法が悪く、そのために隣接市からの持込が多いようです。他市並みに分別方法をきつくしてはどうですか。 ビン・カン・プラスチックを所定のビニール袋であれば中身がきちんと分別されていれば決めつけないのでも良いのではないか。それだけで大量の資源が減少します。生ごみ・コンポスター運動の増進を願う。

家庭内のゴミの中に分ければ大分資源になるものがあります。分け方をどうやって呼びかければ良いのか張紙をしても見ない悩んでいます。雑がみが生ごみに混ざっているのを見受ける。もっとPRが必要と思う。

リサイクル関連等：12名

孫のスキーウェアやスキーを数回しか使っていないけど、捨てるのは絶対もったいない。靴は24.5です。身長146ぐらい、こういうものをどこかに持っていければ使ってくれと嬉しい。とにかくもったいないものを集めるところがあり、誰でも持っていけるようなところがあればいいと思います。私は退院してきたばかりで外にはあまり出て行きません。 今は安易に物を捨てるのがまかり通っているように思う。もったいないと言う気持ちで再利用を教えることが大切だと考える。物を大事に使いきってこそ、その役割を全するのであり、そのことが、ごみ減量につながるもっとも大切なことだと考えられる。 現状である行政負担の部分と民間との垣根を取り払うことにより、ごみがごみでなくなるケースもあるのではないのでしょうか。 リサイクルを少し推し進められるか(レインボー作戦など) 現在行われているリサイクル可能商品以外にも研修を重ねて、対象分野を広げていくのも1つの方法かと思われます。 山形市の学校給食センターで行われているリサイクル活動には、教育活動の中でも素晴らしい社会教育と考えております。 当社は、ごみのリサイクル比を向上させるべく、種々の対策を講じているところでありますが、更なる効率化を図るため参考となる事例があれば積極的に取り組んで参りたいと考えています。 私は、6、7年前から電気で生ゴミを発酵分解して市民農園に利用しています。機械に入れるゴミ培養前を購入すると1回2,000円位するので、私は材木屋さんから「ひきくず」を頂いて来て、それに1回に50g位の発酵促進剤(1Kgで500円位)のものを混合して使っております。安上がりでよいみたいです。それで3〜4ヶ月それに生ゴミ投入できます。 長井市の生ゴミ対策をテレビで見ている、水きり用のザル付バケツが欲しい。コンポストの使用方法を見ていたら、蓋を開けて網をし、日光を入れるようにと書いてあるが、網は売っていない。ゴミ袋に合ったプラスチックのゴミ入れはない等、どうしてもゴミに対する関心もなく楽しみながら減量できる方法を考えたい。 シュレッダーごみを「燃やすごみ」ではなく「雑紙」扱いにしてリサイクルできないものか。 まず市役所が積極的にリサイクル商品など省資源に貢献できる製品を使うこと。 一般家庭から出されるリサイクル可能な物は行政で回収し、事業系一般廃棄物の中に入っているリサイクル可能な物は行政で受け付けないようにしたらコストも削減できて事業所のリサイクル意識も高まると思います。
--

自主的取り組み紹介等：17名

ごみの減量に関することは実生活で実践していることです。「もったいないねッ」という内容は実生活における手作り・リサイクルが大切で、イコールごみ減量につながります。私も手作り教室を自室で教えていますが、着なくなった服・セーター・和服・野菜(取れすぎたり)自宅の簡単な補修など私が覚えている限りを皆さんに教えているつもりです。手作り(生活全般)をすれば全てごみ減量、特に「もったいない」につながります。それからゆとり生活も芽生えて来ます。口だけ「減量・もったいない」を叫んでも絶対だめだと思います。※すべて実践して始まります!! 年々増えるごみの減量を考える時、贈答品の過大包装、大きすぎる箱をどうにかしたいと思う。贈る方もいただく方も意識をかせ、外国なみの包装にしたいものです。スーパーでみていると、マイバックを持って行く人がまだまだ少ないように思う。一人一人がサークル等で持参を進めるよう女性の立場から進めて行きたいものです。 15〜16年前から廃食油から作った石鹸を使用していますが、冬の手あれから開放されています。廃食油も、ほとんど捨てた事はありません。もっと広がれば良いのになあと思っております。 コンポストや生ゴミ等を使った農産物等を販売したり宣伝したりのネットワークを作りたい。堆肥等を使った農業の体験などを行う。

私共の会社は、衣類の再生加工会社です。海外向きの中古料も扱って居ります。以外にも女性のブラジャー・ショーツ・ガードルなども東南アジアに輸出して居ります。投げればゴミ、分ければ再生資源になります。必ず洗濯済みの物に限ります。又何十種類も有ります。

今、森のたんぼではゴミを出さない仕組み作りをしています。そこで発見したことが2つあります。1つはゴミの約8割～9割が包装ゴミであるということです。食材の「しこみ」にはタッパを使い、スーパーで買い物する時は、買い物袋を持ち、できるだけ包装されていないものを選ぶように心がけるようになりました。2つ目は、「食」の世界において、ゴミ(生ゴミ)を出さないようにすることは、体つまり健康によいということです。例えば「りんご」皮をむけば「皮」はゴミですが、そのまま食べれば「栄養満点」です。同じことが米・大根・人参・ゴボウなどにもいえます。

当町内(半郷第四町内会250戸)は、約5年間、ごみ焼却場継続反対運動をすすめ、その目的を実現させていただけあって全戸が世帯番号をつけあって、ごみ袋に番号を書いて出しています。雑紙回収も含めて前向きな取り組みをしています。畑を借りている人は、生ごみは殆ど堆肥化しています。ただ(今年は雪は少ないが)冬の場合、コンポストが一杯になると、出さざるを得ない。一番困るのは、ビニール袋の包装材です。トレーは山形市でも学校や町内で集めて、新庄の福祉施設、最上町横田工業にとりあえずやっつの再利用なども考え、ごみゼロの現実をアピールすることも。

私は今、滝山地区町内会連合会のごみ問題についてのグループの代表をつとめておりますが、その話の中で意見の一致を見ていることは、この地区から「ごみ置場」を無くして、環境美化に努めたいということを議論しております。難しいことでなく可能であると考えております。品物を買うときは、袋・レジ袋・包装紙などはただであるけれど、これを処分するのに金がかかるという意識を持たせれば、自ずと金のかかるものは入らなくなる・・・というような環境を作ることだと思います。捨てることはただではない。金がかかるということをし！

私は現在、玄米菜食のススメ講座を開催し、日本の伝統食の大切さを伝えております。基本的に身土不二(しんどふじ41022)に根ざした有機栽培の農作物を頂くことで、心身に良い影響を与えることはもちろんですが、ほぼ全体を食することから、捨てたり、無駄することがなく、非常に経済的で環境に配慮した食生活と言えるのです。また安心な食品保存を心掛ければ、生ごみ発生も少なくなり、ストレスも無くなります。これかは、昔からの自然の営みであり決して難しいことではありません。可能なことから実践頂いて、皆さんに喜んで頂きたいのです。

町内及び公園内の「ごみ分別」について各集積所を巡回して実施しているが、アパート住居者に対する「ごみに対する不法投棄防止対策」が課題であります。アパート管理者を通して指導強化する予定。

町内として、ダンボール・アルミ缶等資源回収して町内の運営資金に役立てております。

ギフト(歳暮、年始、中元、快気等)の包装は簡単に包むでなく掛けるだけにして、のし紙は短冊式にすべきと思う。

何も得することがなければ大人はなかなか実行しないと思います。「得」でごみ減量に参加していただくのもきっかけかと思います。長野県岡谷市では、紙で使う封筒(A4)を提携の封筒に作り変えられるようにしてありました。県職員の先輩の女性の方々は封筒を裏返して再利用していました。

生ごみは、兎(8頭飼育)の餌や堆肥にするので、ごみとしては廃棄処分しないようにつとめている。(無農薬エコ菜園を経営)。食品類などは、出来るだけ包装していないものを買うようにしている。

当協議会は、第三第12学区の住民によって構成されています。庶務担当は北部生活学校ですので、同様の意見で運営されています。新容器リサイクル法が4月実施ですので、20数地区住民と交流各店と話し合って買い物袋持参を進めて来たのです。有料化によるレジ袋の減少をとの実施が京都・東京杉並で始められた事に力を得て、後期研修会(北部公民館2/24午後)の中で、地域スーパー各店との話し合いを予定しています。地球温暖化を少しでも防止する為に活動を全市に。

新容器リサイクル法が19年4月から実施されるに当たり、レジ袋の有料化に一步踏出す好機と考えます。京都や杉並のように流通各店(地域の)と住民の間に締結され実施されるよう踏出す一步として、北部資源再利用推進協議会の好機研修会で、地元のスーパーとの話し合いの時を持ちます。地球環境浄化の一步になるよう数10事業の買物袋持参運動の一つとして発展させて行きたいと思っています。

私は、数年前から買い物袋は持参していますが、大部分の人は無関心の様です。スーパーの袋の有料化を県と市で早急にしてもらいたい。